

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第3回登米市文化財保護委員会議
開 催 日 時	令和7年2月21日(金) 午後1時30分開会 午後3時20分閉会
開 催 場 所	中田庁舎 2階 201会議室
議 長 (委 員 長 又 は 会 長) の 氏 名	後藤悦雄議長
出席者(委員)の氏名	佐藤文則副議長、大場勘市委員、工藤輝雄委員、千葉博幸委員、 守屋 博委員、浅野稔委員、佐藤貞光委員
欠席者(委員)の氏名	佐藤謙一委員、笠原信男委員
事 務 局 職 員 職 氏 名	文化財文化振興課長 菊地 武、文化財文化振興課長補佐兼係長 阿部礼子、主査 二階堂 悟、学芸員 佐藤奈津季
議 題	協議 (1)文化財の指定について (2)市制施行20周年記念文化財紹介冊子「登米の歴史と文化」について 報告 (1)旧登米高等尋常小学校校舎耐震診断事業について (2)宮城県指定有形文化財「青銅五重塔」修繕について (3)登録有形文化財について (4)埋蔵文化財・天然記念物現状変更事務取扱状況について (5)天然記念物滅失事務取扱について
会 議 結 果	文化財の指定については、諮問内容を審議した後承認され、答申書の作成をすすめることとした。 文化財紹介冊子については、掲載基準について概ね承認し、プレートや石碑等の掲載の検討と冊子販売の提案がなされた。 報告事項については、各担当より報告を行った。
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	第3回登米市文化財保護委員会議 協議 (1)文化財の指定について (2)市制施行20周年記念文化財紹介冊子「登米の歴史と文化」について 報告 (1)旧登米高等尋常小学校校舎耐震診断事業について (2)宮城県指定有形文化財「青銅五重塔」修繕について (3)登録有形文化財について (4)埋蔵文化財・天然記念物現状変更事務取扱状況について (5)天然記念物滅失事務取扱について

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局 議長	開会 挨拶
議長	登米市文化財保護委員の会議運営に関する規則第2条第2項の規定に基づき、議長が会議を主宰した。
事務局	—協議— (1)文化財の指定について、説明をお願いします。
議長	【諮問書に基づいて説明】
委員	協議事項(1)について、ご意見はありますか。
事務局	養蚕に関する扱い方についての記録はありませんか
委員	津山地区では、小学校で蚕を育てる体験学習をしていたこともあるようだ。
事務局	このような資料をどこで保管しているのか
委員	ほとんどは旧善王寺小学校に保管してる。今後整理をすすめていく。
事務局	この資料をどのように活用していくのか。
議長	市歴史博物館企画展で活用していくつもりである。令和7年度は東北歴史博物館で3点の資料を展示する予定となっている。
事務局	指定については承認されました。 次に(2)市制施行20周年記念文化財紹介冊子「登米の歴史と文化」について、説明をお願いします。
事務局	【資料に基づいて説明】
委員	記載している掲載基準のほかに、登米市が舞台となったドラマや映画に関係するものを載せてはどうかとの意見もあるが掲載内容として適切か意見を伺いたい。
事務局	ドラマや映画に関係するものよりもスレートや古写真、口説き、石碑、算額等についての掲載はどうか。
事務局	指定されていないものに関しては基準が難しいと思っている。昭和20年頃までの発祥が認められるものとして掲載ができるか検討する。ページの制限もあるので再度内容を検討する必要がある。

委員	冊子は販売するのか。
事務局	関係機関に配布するが、販売も考えている。
委員	C D版は作成するのか。
事務局	学校へはP D F の形で配布し、市H P にもリンクをはる予定である。
委員	いつ頃発行されるのか。
事務局	令和 7 年末までには発行したいと考えている。
議長	— 報 告 — (1) 旧登米高等尋常小学校校舎耐震診断事業について、説明をお願いします。
事務局	【資料に基づいて説明】
議長	報告事項について、質問または確認しておきたいことはありますか。
委員	地盤調査は 1 カ所だけか。
事務局	ボーリング調査は 1 カ所で行い、振動調査は数カ所行っている。
委員	どのような耐震工事が必要なのかいつ頃わかるのか。
委員	令和 7 年夏ごろに報告書の概要を示してもらう予定である。
委員	今後はどのような活用をしていくのか。
事務局	どのような文化財の活用が考えられるか検討していく。
議長	(2) 宮城県指定有形文化財「青銅五重塔」修繕事業について、説明をお願いします。
事務局	【資料に基づいて説明】
委員	調査に立ち会っていたのでお話しする。 青銅は熱を加えると破損のおそれがあるため、破損部分はあるものの修繕は慎重を要する。修繕の目的は石垣部分を中心であるので、青銅部分の修繕は必要最低限になるものと思われる。 塔を造った当時の経費の書類等も残っている。
事務局	追加資料として、青銅五重塔の銘文もお配りしている。 読み下し文は付けていないが参考までにご覧いただきたい。

事務局	【資料内容を説明】
議長	次に(3)登録有形文化財について、説明をお願いします。
事務局	【資料に基づいて説明】
委員	今後、登録有形文化財の候補はあるのか。
事務局	石ノ森章太郎さんの生家の調査を検討している。
議長	続いて(4)埋蔵文化財・天然記念物現状変更事務取扱状況について、説明をお願いします。
事務局	【資料に基づいて説明】
委員	ゲンジボタルの状況はどうか。
事務局	川の増水で川底が浚われ、土砂が堆積した影響で数が減っている状況である。
議長	最後に(5)天然記念物滅失事務取扱について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に基づいて説明】
委員	カモシカは地域指定のような形はできないのか。
事務局	県からは現状では難しいとの話を受けている。
議長	その他に入ります。事務局からありますか。
課長	来年度以降の文化財保護委員の構成についてお話しさせていただきたい。 平成17年に合併した登米市も21年目を迎える。 これまでは、文化財保護委員の選出を旧町域から9名と学識経験者1名の形でお引き受けいただいていた。 文化財保護委員の構成について、県内の状況を調査したところ、登米市のような委員構成は稀な例であることを踏まえ、令和7年度より専門分野からの委員選出を行うこととした。
議長	その他について、これで終わります。
副議長	閉会挨拶
	閉会